

姫路市特別職報酬等審議会

= 第1回会議（令和8年2月24日） =

会議録

（要点記録）

日時：令和8年2月24日（火） 午前9時30分～午前10時45分
場所：姫路市役所本庁舎10階 第5会議室

○ 姫路市特別職報酬等審議会第1回会議次第

- 1 開 会
- 2 市長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 審議会概要説明
- 5 会長互選
- 6 会長職務代理者の選任
- 7 諮 問
- 8 議 事
 - (1) 資料説明
 - (2) 意見交換
- 9 閉 会

○ 姫路市特別職報酬等審議会第1回会議出席者

- ・ 清元市長 (次第第7の終了後、退席)
- ・ 委員 9名
- ・ 事務局 5名

○ 開催結果について (要点記録)

- 1 開 会 (午前9時30分)
- 2 市長挨拶
- 3 委員紹介
事務局から各委員を紹介
- 4 審議会概要説明
姫路市特別職報酬等審議会条例に沿って、審議会の概要説明
- 5 会長互選
井関委員を推薦することについて、委員賛同の上、井関委員を会長に選出。会長挨拶
- 6 会長職務代理者の選任
会長が岩谷委員を会長職務代理者に指名
- 7 諮問

市長から会長に対し、諮問書を交付

8 議 事

●会長 この審議会の進め方について参考までに確認したい。事務局では答申までのスケジュールをどのように考えているのか。

■事務局 これまでの審議会を例に説明すると、第1回目は事務局から提示した資料をもとに、他都市の状況や現在までの改定の経過等を説明し、基本方針を決定していただいた。第2回目で、第1回目で審議いただいた基本方針に基づいた改定率や改定幅についての意見を調整し、各職間のバランスを見ながら、それぞれの職について改定率等をお示しいただき、第3回目で、第1回、第2回でお示しいただいた趣旨等を踏まえ、最終的な改定内容の確認をしていただいた。ただし、本日第1回目の審議で改定の必要がないと判断いただいた場合は、次回で答申内容を確認いただき、審議終了としたいと考えている。

本審議会は委員に自由に発言していただくため、従来非公開としており、今回も同様の取扱いとしたい。ただし、審議経過等については、市民の理解を求める必要があるので、審議会終了後、委員名を伏せた要点記録の会議録を公開したいと考えている。

●会長 審議会の進め方について、会議録の公開も含めて、特段の事情がない限り、事務局案のとおり進めたいがどうか。

「異議なし」の声あり

(1) 資料説明

●会長 議事をすすめるにあたり、事務局で配付資料の説明をしてほしい。

■事務局 【配布資料により、市長、副市長、議員の報酬等の概要、他都市の状況等について説明】

●会長 事務局の説明について、質問があればお願いしたい。

○委員 平成20年7月の改定では、直近の平成19年人事院勧告において一般職の給与がプラス改定されているにもかかわらず、特別職の報酬は減額改定となっている。理由を知りたい。

■事務局 平成19年単年で見るとプラス改定であるが、特別職の報酬を改定した平成10年から平成19年までの人事院勧告における一般職の改定率を累積するとマイナスの改定率となる。当時の社会情勢なども踏まえた上で、審議会の答申では減額

改定の方針が示されたものである。

- 会長 特別職の報酬等が改定される流れを確認したい。
- 事務局 審議会の答申をもとに、議会に条例議案を上程し、議会での議決をもって、改定が行われる。
- 委員 減額措置の期間は都市によってそれぞれ異なるが、減額する期間を何年間と定めているのか、それとも例えば令和8年3月31日までとなっているものは、そこで減額措置が終了するのか。その定め方は全国的に同様のものか。
- 事務局 減額措置を実施する自治体によって異なる。一度決めた減額措置の終期を当面の間と定め減額措置をやめるまで継続するところと、いつからいつまでと期間を定めた上で、その終期を改めて更新して減額措置を継続しているところがある。
- 委員 減額措置は市長の選挙時の公約によるものか。
- 事務局 すべてが公約によるものではないが、市長の公約に掲げられることもあるとの認識である。
- 事務局 本市の財政状況、県内ではトップクラス、中核市では平均より良好である。議会費が歳出に占める割合は他都市に比べ少ない方であるが、議員一人当たりの額でみるとそこそこあり（58番目）、安ければいいのかという議論もあるが、政務活動費や議会事務局の職員数なども考慮する必要がある。

(2) 意見交換

- 会長 本日の会議では、改定の必要があるかということ（これまでの審議会で重視してきた）4つの視点から決めていきたい。この後、委員の皆様一人ずつ意見をいただきたい。
- 委員 一般会計は黒字であるが、箱もの施設を統廃合する話ではお金がないとよく言われる。報酬を引き上げると次回の改定まで上がったままとなる。報酬を引き上げ改定することで必要となる金額がどれくらいなのかを示してほしい。
- 事務局 次回で示したい。
- 委員 人事院勧告によって姫路市職員の給与があがると、他の関係団体もすぐに給与をあげている。一方、特別職は長い間、報酬等は横ばいで続いている。一般的な会社員の60代くらいの方々を考えると横ばいのままというのは気の毒かもしれないが、1人や2人だけの報酬を上げる話ではない。上げた後の全体の増加分の

割合を示してほしい。

- 会長 次回の会議で改定の幅は決めることとなる。今回の会議では、引き上げたり、引き下げたりする必要があるかを決めたい。
- 事務局 平成 23 年以降の人事院勧告における一般職の改定率の累積では、6.54%上がっている状況である。また、他都市でも近年は引き上げ改定しているところが増えてきている。このあたりの現状、変化も踏まえてご意見いただけたら。
- 委員 改定の幅次第であると考え。上げる割合は次回に考えるとして、上げる方向で考えたい。
- 委員 議会費の歳出総額に占める割合などをみると、他都市と比較しても上げられる幅はあるのではないかと。昨今の社会情勢からも、上げ幅次第であると考え。
- 委員 姫路市における政務活動費について知りたい。
- 事務局 本市の政務活動費の年額は 102 万円である。中核市で支給額の多い都市では 216 万円、中核市の平均では約 106 万 3 千円であり、中核市の中では平均より少し低めであるといえる。
- 委員 最近の一般職の給与改定率をみると、改定する割合は上がっている。今年か来年あたりで上げるタイミングにきているのではないかと思う。上げる方向で検討するべきと考える。
- 委員 最近の物価高を考えると上げる方向でよい。上げ幅がどの程度がよいかは検討が必要。
- 委員 報酬を見直すのはよいが、何のための報酬なのかを考えるべきである。それぞれの役割ごとに他都市とも照らし合わせて見直すべきである。報酬だけでなく、期末手当も含めた年収ベースでの他都市との比較もするべきと考える。報酬のみの比較資料ではなく、年収ベースでの比較資料が欲しい。見直しは議論すべきである。
- 事務局 年収ベースでの資料も提示したい。
- 委員 特別職の報酬が 15 年間改定されていない。一方、一般職の給与は最近上がっている。特別職でも、市長と副市長はマネジメントする側であり、議員とは性格が違う。物価が 3%上がっており、生活する上での原資でもある。質のいいサービスを提供するため、実現する意欲につながるのだから上げることはよいと思う。ただし配分が重要である。

- 委員 一般職の水準からみれば見直しは必要と考えるが、トップマネジメントする特別職と一般職を同じ水準でとして考えてよいのかという思いはある。次回新たな資料を確認した上で考えたい。
- 委員 他都市の審議内容について知りたい。
- 事務局 審議会の答申も含めて非公開としているところもあり詳細は把握しかねる部分もあるが、審議会の資料は、国の通達に基づき作成しているため他都市の審議会の内容も同様のものである可能性は高い。姫路市の場合はこれまで4つの視点に基づいて議論をし、これまで答申がなされてきている。
- 委員 中核市の人口規模や財政規模、物価の高い首都圏との比較など、考えられる基準はいくつもあるが、基準を複雑にすると決めがたくなってくる。3つか4つの基準で判断できればよい。
- 委員 私も上げることについて前向きである。
- 会長 全員改定が適当であるとの意見でまとまった。具体的な内容を次回に検討したい。
- 事務局 マネジメントの部分についての役割としての報酬という話が合った。
一般職の累積改定率6.54%には、近年における若年層を中心とした給与改定の影響も大きい。マネジメントの職に相当するものも次回お示ししたい。
- 会長 給与が良くないと公務員になってくれない、そういった状況も反映されている。市長や副市長、議員の具体的な業績は考慮しないということではよろしいか。
- 委員 それは難しいであろう。選挙のたびに額を変えることになる。
- 委員 選挙で選ばれる方でも市長、副市長と議員とでは性格が違う。
- 事務局 市長、副市長は生活のための給与として支払われ、議員は成果に対する報酬として支払われているので、自営業と同じようなものであり、退職金もないことから、性質は違う。給与に関しては、政治的な判断で年収を評価して決める自治体もあるが、本市としてはこれまでの形でやっていきたいと考えている。
- 委員 欠席が多い議員の報酬がどうなっているのか気になる。議会の中で皆納得されているのであればよいが。欠席しても同じというのは何とも言えない。
- 会長 回りの議論の観点としては、他都市の状況もあるが、報酬改定により経費がど

れだけ増えて、どれだけ影響があるか。市長や議員といった職による違いもある。
そのあたりも踏まえて議論を行いたい。

9 閉 会 (午前 10 時 45 分)